



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 ヤマエ久野株式会社
 コード番号 8108 URL <http://www.yamaehisano.co.jp/>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網田 日出人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統轄 (氏名) 池田 勲

TEL 092-474-0711

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	200,582	7.5	1,189	29.3	1,353	30.6	2,265	118.5
29年3月期第2四半期	186,536	1.9	1,682	4.1	1,951	0.2	1,037	10.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,679百万円 (77.5%) 29年3月期第2四半期 1,509百万円 (73.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	112.38	
29年3月期第2四半期	51.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	168,197	47,668	27.5
29年3月期	124,263	42,569	34.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 46,220百万円 29年3月期 42,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				20.00	20.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	8.0	4,500	17.7	5,000	14.5	3,200	9.7	158.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) フィット株式会社、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	20,519,212 株	29年3月期	20,519,212 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	361,867 株	29年3月期	345,055 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	20,157,860 株	29年3月期2Q	20,182,635 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、穏やかな回復基調にあるものの、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

一方、当企業グループが主に属する流通業界におきましては、生活必需品に対する消費者の低価格志向継続や人手不足の顕在化により、物流コストのアップやオーバーストアなどに起因する激しい価格競争の中で生き残りをかけた機能充実とローコスト競争がさらに厳しくなっております。

このような環境の下、当企業グループは、「グッド アンド ビッグカンパニー」を目指し、連結子会社 19 社を含め、物流を伴う現物問屋として、安心安全な商品の安定供給に全力を尽くすとともに、情報・物流・リテールサポート・品揃え・品質管理などの各機能を充実させた提案を行い、関連各部門および各子会社との連携強化による総合力を活かした商流の構築と共同配送事業の拡大に努めてまいりました。本年の主な設備投資としては、九州においては福岡県北九州市小倉南区、関東においては埼玉県戸田市、関西においては兵庫県神戸市東灘区に新たに物流センターを稼働いたしました。

また、新規取引先の獲得や既存取引先でのシェアアップに一段と努力いたしました結果、売上高は 2,005 億 82 百万円(前年同四半期比 7.5%増)となり、140 億 46 百万円の増収となりました。

一方、利益面におきましては、グループ一丸となって、販売益の確保ならびにローコストオペレーションの追求による経費の節減に努力いたしました。営業利益は 11 億 89 百万円(前年同四半期比 29.3%減)、経常利益は 13 億 53 百万円(前年同四半期比 30.6%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は段階取得に係る差益を特別利益に計上していることから 22 億 65 百万円(前年同四半期比 118.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 439 億 35 百万円増加し、1,681 億 97 百万円となりました。主な要因は、「現金及び預金」の増加額 102 億 83 百万円、「受取手形及び売掛金」の増加額 101 億 53 百万円、「のれん」の増加額 133 億 71 百万円によるものです。

負債においては前連結会計年度末に比べ 388 億 35 百万円増加し、1,205 億 29 百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加額 142 億 22 百万円、「短期借入金」の増加額 27 億 14 百万円、「長期借入金」の増加額 141 億 13 百万円によるものです。

また、純資産においては前連結会計年度末に比べ 50 億 99 百万円増加し、476 億 68 百万円となりました。主な要因は、「資本剰余金」の増加額 16 億 33 百万円、「利益剰余金」の増加額 18 億 70 百万円、「非支配株主持分」の増加額 14 億 7 百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,278	24,561
受取手形及び売掛金	39,152	49,305
電子記録債権	626	837
商品及び製品	6,953	7,292
仕掛品	26	72
原材料及び貯蔵品	298	447
その他	6,772	8,363
貸倒引当金	△699	△627
流動資産合計	67,405	90,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,154	18,256
土地	20,163	21,406
その他(純額)	5,371	8,385
有形固定資産合計	42,688	48,047
無形固定資産		
ソフトウェア	788	745
のれん	124	13,494
その他	98	114
無形固定資産合計	1,010	14,354
投資その他の資産		
投資有価証券	10,959	12,767
その他	2,337	3,001
貸倒引当金	△136	△221
投資その他の資産合計	13,160	15,547
固定資産合計	56,857	77,948
資産合計	124,263	168,197
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,445	58,667
電子記録債務	—	1,718
短期借入金	9,122	11,836
未払法人税等	229	761
賞与引当金	906	1,408
厚生年金基金解散損失引当金	35	35
その他	12,939	14,672
流動負債合計	67,676	89,097
固定負債		
長期借入金	6,083	20,197
役員退職慰労引当金	271	660
退職給付に係る負債	624	633
その他	7,038	9,941
固定負債合計	14,017	31,431
負債合計	81,693	120,529

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,026	1,026
資本剰余金	948	2,581
利益剰余金	35,639	37,509
自己株式	△351	△368
株主資本合計	37,261	40,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,358	5,589
退職給付に係る調整累計額	△92	△117
その他の包括利益累計額合計	5,266	5,472
非支配株主持分	42	1,448
純資産合計	42,569	47,668
負債純資産合計	124,263	168,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	186,536	200,582
売上原価	170,874	183,805
売上総利益	15,662	16,777
販売費及び一般管理費	13,980	15,588
営業利益	1,682	1,189
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	61	69
仕入割引	33	34
持分法による投資利益	56	—
貸倒引当金戻入額	114	83
雑収入	193	235
営業外収益合計	463	427
営業外費用		
支払利息	92	88
支払手数料	—	67
売上割引	34	43
雑損失	69	65
営業外費用合計	194	262
経常利益	1,951	1,353
特別利益		
固定資産売却益	17	27
補助金収入	—	24
受取保険金	—	233
経費負担調整金	—	446
災害見舞金	36	—
段階取得に係る差益	—	1,147
特別利益合計	54	1,876
特別損失		
固定資産除売却損	23	7
減損損失	3	—
投資有価証券評価損	8	—
災害による損失	308	—
災害損失引当金繰入額	18	—
特別損失合計	360	7
税金等調整前四半期純利益	1,644	3,222
法人税、住民税及び事業税	454	579
法人税等調整額	151	170
法人税等合計	605	749
四半期純利益	1,039	2,473
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	208
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,037	2,265

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,039	2,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	499	231
退職給付に係る調整額	△29	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	470	206
四半期包括利益	1,509	2,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,507	2,471
非支配株主に係る四半期包括利益	2	208

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社である株式会社デリカフレンズ及び当社の持分法適用関連会社であった株式会社惣和並びに双葉産業株式会社は、平成29年4月3日に、共同株式移転の方法により中間持株会社であるデリカSFホールディングス株式会社を設立し、デリカSFホールディングス株式会社、株式会社惣和及び双葉産業株式会社が当社の連結子会社となりました。当該事項にその他の変動を含めた結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が2,581百万円、利益剰余金が37,509百万円となっております。